



令和5年度
学校だより
12月号

自ら輝く ときわの子
～一人ひとりが輝く存在に～
互いに学び合い
自分らしさを発揮する子の
育成を目指します

令和5年11月30日
横浜市立常盤台小学校
TEL 331-4808
FAX 331-5429

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tokiwadai/>



「 自尊心を育む 」

副校長 新川 浩一

寒さが身に染みる季節となりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶ子どもたちの姿に逞しさを感じている今日この頃です。

さて、11月24日（金）に、常小では初めてとなる全校遠足が行われました。冬晴れの道を子どもたちは三ツ沢公園まで歩き、現地ではペアグループで様々なレクを楽しみました。

一見近いように感じる三ツ沢公園ですが、片道2Km近くあり、加えて坂も多いので、特に低学年の子どもたちにとってはかなり疲れたのではと思います。しかし、ペア学年での交流に

は誰もが積極的に参加し、活動中の楽しそうな様子を見ると、今回の全校遠足がとてもよい成長の機会だったと感じます。「立場の違う相手と、どう交流を深めたらよいのかな。」

「グループの中で自分ができる協力って何だろう。」子どもなりに、いろいろなことを考えて臨んだ全校遠足。体力をつikai、たまには気をつikai、少し疲れた一日だったと思いますが、目に見えない成長があった一日でもあったと感じます。

今回の全校遠足もそうですが、子ども達にとって、なぜ交流が必要なのでしょう。身体的健康や数学、読解などのスキルでは世界で上位の日本の子ども達。一方で、自分が感じる幸福感となると下位へ転落してしまいます。自信がないのかもしれませんが、「自分にはよいところがあると思いますか」と問われたら、迷わず「はい」と答えられる子ども達を育みたいと思います。そのためには、何と言っても自尊心を豊かに育む環境が必要です。その自尊心はどうすれば育つのか。そのカギは「共有体験」に尽きます。多くの人との関わりを通して自分を知り、自分のよさに気付く、自分に自信をもつことができる。

子ども達一人ひとりの興味・関心を尊重した個別最適な学びを保障するため、一人一台のタブレット端末の活用は今後も推進していきます。それと同時に、子ども達同士が豊かに関わりながら、響き合い、感じ合い、自他の存在を認めながら互いに成長していく機会も、常小では一層大切にしていきたいと思っています。

